

『積雪モデルに関するワークショップ（第3回）』

名称：『積雪モデルに関するワークショップ（第3回）』

日時： 2011年3月15日(火)

場所： 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター
大会議室（新潟県長岡市）

<http://www.bosai.go.jp/seppyo/>

キーワード： 「積雪モデルの現状と今後の発展に向けた研究」

主旨： 雪氷災害を予測する手法として、積雪モデルを用いて積雪状態を推定する方法が進められている。積雪モデルはこれまで行われてきた多くの雪氷に関する基礎研究の成果がとりこまれ、それにより有用性も増してきている。しかしながら、未だ十分に考慮されていない過程も多く、現在の積雪モデルでできることには限界がある。本ワークショップでは、国内で開発、利用されている積雪モデルについて最新の話題を集めるとともに、積雪モデルの発展のために今後必要とされる研究について議論する。

■■プログラム■■

3月15日（火）

路線バス： 長岡駅東口6番線8:30 → 前山町入口8:41

路線バス： 長岡駅東口6番線9:20 → 前山町入口9:37

10:00-12:15

主催者あいさつ、事務連絡

セッション1

山崎剛（東北大学）

積雪モデルの開発

庭野匡思（気象研究所）

気象研における積雪変態・アルベドプロセスモデルの開発

平島寛行（防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター）

積雪変質モデルの現状と課題

12:15-13:30

休憩

13:30-15:30

セッション2

勝島隆史（長岡科学技術大学）

水みちの形成理論と実験

安達聖 (筑波大学)

MRIを用いた積雪微細構造及び含水率の測定

森口周二 (岐阜大学)

個別要素法を用いた微細構造視点の力学計算

15:30-15:50

総合討論

16:00-17:00

記念講演 阿部修 (防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)

積雪のミクロとマクロ

★ご来場に当たっての注意 (特に積雪地域外の方へ)

==== 大雪になる可能性があります。====

- ・路線バスは、降雪の程度により遅れが出る可能性があります。
- ・JR在来線は、降雪の程度により遅れ、運休の可能性があります。
- ・上越新幹線が雪で遅れることはめったにありません。
- ・バスを降りてから研究センターまで、除雪された雪が道路両側にあり道が狭くなっていることがあります。また、車がスリップしやすいです。車に注意して歩いてください。
- ・車での移動は、通常よりも数10%増しでかかると思ってください。
- ・市内は排雪が間に合わない場合、車道と歩道間の雪壁が高く、見通しが悪くなっている可能性があります。

○アクセス： 新幹線/信越本線 長岡駅東口6番から
越後交通バス栖吉線 前山町入口下車

<http://www.echigo-kotsu.co.jp/contents/diagram/>